



篠山のお父さん、お母さん ありがとう! ～年末年始短期里親事業～

目次

- 2・3 年頭のあいさつ
共同募金・歳末たすけあい運動報告
- 4 NEWS福祉
- 5 ファミリーサポートセンター
こんにちは!ヘルパーです
- 6 篠山市災害支援市民ボランティア活動報告
- 7 善意銀行だより/篠山市の福祉指標
東日本大震災から1年 忘れない3.11
心配ごと相談日
- 8 情報ボックス
あとがき

立正学園(=児童養護施設、藤本政則園長、加古川市)の子どもたち12人が、里子として12月28日～1月4日まで篠山市内の里親(9家庭)のもとで、あたたかいお正月を過ごしました。

学園内とは、一味違った家庭的な雰囲気を感じながら、篠山での楽しい8日間を過ごしました。

年頭にあたり



篠山市社会福祉協議会

会長 羽田 登喜雄

平成24年の新春をご家族お揃いでお健やかに迎えのこ
とと存じ、お喜び申し上げます。

平素は、社会福祉協議会の
事業運営ならびに地域福祉活
動の推進につきまして、温か
いご理解とご支援をいただき
厚くお礼申し上げます。

さて、昨年発生した東日本
大震災および台風12・15号で
被災されました多くの皆様
に心よりお見舞い申し上げます。
この度の震災や豪雨災害
について、私達は自然災害の
脅威を感じると共に復旧・復
興に向けた地域のつながりの
重要性やボランティア活動の
支援など、社協による組織的
かつ迅速な支援活動が必要

不可欠であるということ
を再認識いたしました。改めて日頃
の地域の連携や絆の大切さを
知ることとなりました。

篠山市社協は職員の派遣や
市民ボランティア救援活動、
義援金募金、お米プロジェクト
ト等の救援活動に多くの市民
の方々のご支援ご協力をいた
だきました。ここに厚くお礼
申し上げます。

こうした状況の中、法律や
制度の強化のみならず、今こ
そ住民主体による「誰もが住
み慣れた地域で安心して暮ら
せる社会づくり」を進めるこ
とが何より大切であり、小地
域活動をさまざまな分野の
方々と今まで以上に推進して
いかなければなりません。

この度、市が策定する「篠
山市保健福祉総合計画」とも
連携し、新たな「篠山市地域
福祉推進計画」を策定して各
事業を着実に遂行していき
たいと思います。

市より受託している東部・
西部地域包括支援センターは
市内全域の地域包括支援セ
ンターとして一括運営をし、高
齢者の多様なニーズや相談に
総合的に対応しております。
また、介護予防等の必要な
サービスについても包括的継
続的に行っております。

次年度の地域福祉推進につ
きましては、自治会長会、民
児協、民児協力委員、福祉委
員、ボランティア、NPOの
皆様方、そして、まちづくり
協議会関係の方々との連携を
深め、より一層の住民主体の
福祉のまちづくりを進めて参
りたいと存じます。

市民の皆様におかれまして
は、昨年と変わらぬご支援ご
協力を切にお願ひ申し上げます
と共、皆様のご健康とご
多幸をご祈念申し上げます。
ご挨拶いたします。

あたたかいご支援、ご協力をありがとうございました

平成23年度 赤い羽根共同募金運動報告



ニシヤマストア街頭募金(篠山)

10月1日から実施しま
した「赤い羽根共同募金
運動」、ならびに12月1日
からの「歳末たすけあい
運動」には、皆さまのあ
たたかいご支援により多
くの募金が寄せられまし
た。また、募金活動には、
自治会長、民生委員児童
委員、福祉委員の皆さま
をはじめ、各地で活動さ
れているボランティアの方
々等、たくさんの方々
にご協力いただきました。
皆さまからのご支援ご協
力に対し心より感謝とお
礼を申し上げます。

お寄せいただきました
共同募金は、兵庫県共同
募金会を通じ、次年度、
篠山市の地域福祉および
在宅福祉サービスの充実
のために配分されます。

赤い羽根共同募金実績報告

(1月6日現在)

「地域の福祉、みんなで参加」

(収入)

募金内訳	募金額
戸別募金	5,413,099円
街頭募金	152,037円
法人募金	1,804,166円
職域募金	6,040円
学校募金	194,399円
バツジ募金	511,571円
その他の募金	31,420円
収入計	8,112,732円

歳末たすけあい運動実績報告 (1月6日現在)

「みんなでささえあうあったかい地域づくり」

(収入)

募金内訳	募金額
戸別募金	3,334,236円
街頭募金	28,291円
法人・団体募金	144,810円
職域募金	20,780円
個人募金	0円
その他の募金	12円
前年度繰越金	281,643円
収入計	3,809,772円

(支出)

配分金支出	金額
地域歳末ふれあい交流事業	1,833,235円
一人暮らし高齢者友愛訪問事業	737,500円
歳末特別給食サービス事業	346,240円
歳末大掃除お手伝い事業	
障がい者福祉事業所支援事業	370,000円
短期里親配分事業	192,000円
権利擁護支援者養成事業	50,000円
事務費	230,000円
支出計	3,758,975円

物	食料品:餅米・砂糖
品	日用品:タオル・洗剤・石鹸・衣類など

物品を必要とする施設や福祉事業所に配分しました。

次年度繰越金	50,797円
--------	---------

歳末たすけあい運動に金品をお寄せいただいた方 (順不同・敬称略)

前田延弘、馬場板金、篠山プロバスクラブ、円応教篠山教会、篠山市老人クラブ連合会篠山支部、城東地区
 佛教会、多紀叡山講青年部、兵庫県丹波県民局丹波健康福祉事務所、ボーイスカウト篠山第一団、連合兵庫
 丹波地域協議会、松寿会第11クラブ西鏡会、匿名1名

平成
23年度

歳末たすけあい運動配分事業

地域歳末ふれあい交流事業

年末年始に地域で交流活動を実施する団体を市内から募集し、3万円を上限として必要経費の一部を助成しました。今年度は、のべ63団体で実施していただきました。

三世代いきいきサロン クリスマス会



今田町辰巳自治会

権利擁護支援者養成事業

認知症や知的障がい等により、判断能力が不十分な方が住み慣れた地域で安心してくらせるために、権利擁護に関する事業や制度を学ぶ講座を全4回行いました。

権利擁護支援者養成講座



健康福祉センター第一会議室にて

歳末特別給食サービス事業 歳末大掃除お手伝い事業

配食サービス事業所に、「歳末たすけあい運動特製弁当」の調理と配食を依頼し、12月28日のにべ150食を配りました。

また、シルバー人材センターに清掃作業を依頼し、のべ12世帯で大掃除を行いました。

歳末特別給食サービス事業



歳末たすけあい運動「特製弁当」

一人暮らし高齢者友愛訪問事業

民生委員児童委員さんに依頼し、65歳以上の一人暮らしの高齢者を対象に「シクラメン」の鉢植えを、のべ1、466人の対象者に配分し、声掛けを行いました。

障がい者事業所物品配分

市内の障がい者福祉事業所を対象に、運営に寄与する事業や活動に必要な経費の一部を助成しました。

短期里親配分事業

年末年始に実施される短期里親事業において、里子受け入れ家庭に支援協力金と、里子に図書カードを贈りました。

古市小学校児童との交流会

～ふるいちデイサービス～

11月25日、古市コミュニティー消防センターにおいて、ふるいちデイサービスを開催しました。

ふるいちデイサービスは、古市まちづくり協議会を中心として、民生委員児童委員や福祉委員、ボランティアの方々の協力により実施しています。

今回は、古市小学校三年生の児童（22名）とともに、昔の遊びを取り入れた交流会を開催し、お手玉やおはじき、紙風船、こま、あや取りなど、昔なつかしい遊びを通じ、交流を深めました。



次はどの糸をとるの？

お年寄りの参加者は、長い間このような遊び道具に

触れていなかったものの、お手玉やあや取りの技はお見事で、参加した児童も普段は行わない遊びに大興奮の様子でした。

「この糸をその指に引っかけて…」

「できた！」

「上手や、これが二段ばしごや」

「おばあちゃん、これ何？」

「だるま落として言うねん。この木づちでこかさんように下の方を叩いて頭を落とさなあかんねん。強く叩かなあかんで」

と、教える方、教わる方ともに夢中になりました。

にぎやかなひとときに、お年寄りからは、

「こんなに笑ったん久しぶりや」、「あの子らから元気もらえました」、児童からも「おばあちゃんがすごく優しかった」、「めっちゃ楽しかった」などの感想をいただきました。

今後もふるいちデイサービスは、古市地区の高齢者が、元気で楽しい日々を過ごしていただくために、高齢者の健康で自立した生活を維持し、介護予防の拠点としての役割と、福祉コミュニティの構築をめざし、誰もが安心して過ごせる地域づくりを進めていきます。



今度こそうまく落とすからね！

笑顔が溢れる楽しいひととき

～第39回 ふれあいクリスマス会～

12月14日、四季の森生涯学習センターにおいて、「第39回ふれあいクリスマス会」が開催されました。

このクリスマス会は、市内の養護学校や特別支援学級に通う児童、生徒および障がい者福祉サービス事業所や一般就労の障がい者と支援者、ボランティアが一堂に集い、「温かい心のふれあいと障がい者への理解を深めること」を目的に、毎年開催しています。本年も同実行委員会が企画し、多くの支援者やボランティアに協力していただきました。

当日は約400人の参加があり、司会やイルミネーション点灯式の女神・諸人役を障がいのある方が務め、クリスマス会を進めていきました。

会場からの「サンタさん」という呼びかけにこたえて、袋いっぱいプレゼントを抱えたサンタクロースが登場し、みなさん大喜びでプレゼントを受け取っていました。

その後「田舎の魔術師」こと長澤幹雄さん（丹



サンタさんからプレゼントをもらいました

波市在住）によるマジックショーが行われ、技が決まるたびに会場から拍手と歓声が沸きあがりました。もう一つのアトラクション、丹波篠山楽空間と篠山東雲高等学校生徒のみなさんとの合同によるよさこい踊りでは、参加者のみなさんも前に出て一緒に踊り、鳴子の音と賑やかな音楽で会場は大変盛り上がりしました。

参加者からは、「みんなで踊るのがとても楽しかった」「来年も楽しみにしている」との声が聞かれました。

このクリスマス会を通して、障がいをもつ方に対する理解を深め、日ごろから親しく声かけができ、助け合える関係作りができるようになることを期待しています。

ファミリーサポートセンター

問い合わせ先 ☎ 590-1388 FAX 590-1123
篠山市ファミリーサポートセンター 担当 林 直美



知って安心！ 社協の子育て支援



子育て中のパパママは、どうしても子ども中心の毎日になりがち…。

「いま誰かにちょっとだけ手伝ってもらえたら…」と思ったことはありませんか？

社協には、子育て支援に関わる事業やボランティアがあります。

個々に特徴があり、利用の仕方も違います。

それぞれの支援を上手く使って、無理のない子育てを…。

詳しくは、ファミサポまでお問い合わせください。



事業名	篠山市 ファミリーサポートセンター	子ども一時預かり事業	ボランティア「万華鏡」	託児ボランティア (グループ)
利用できる方	ファミリーサポートセンター会員(援助の対象は、概ね0歳から小学校3年生までの子ども)	生後6ヶ月～就学前の子どもを持つ保護者	産前産後間もない時期などに事情により家族の協力が得られないお母さんなど	講習会、研修会などで託児を実施される子育てサークルの方など
援助できる内容	子どもの預かりや保育園への送迎など	子どもの預かりのみ	家事援助(買い物・掃除など)お子さまに対する援助は除く	託児室などにおいての託児
利用できる時間	時間制限はありませんが、会員さんの事情によりお受けできない場合もあります	月1回程度2時間(指定の日・時間のみ)	月～金曜日9:00～17:00の間の1時間程度	主に昼間の時間帯
利用の仕方	事前に会員登録し、利用時に依頼します	締切日までに申し込み、当日申請書を提出します	内容を相談の上、依頼してください	託児の人数、子どもの年齢、時間などを相談の上、依頼してください
活動の場所	協会員・両方会員の自宅	四季の森生涯学習センター東館	内容により異なります	託児用の部屋
協力者	ファミサポ協会員・両方会員	ファミサポ協会員・両方会員	「万華鏡」登録ボランティア	ボランティア登録グループ
利用料(基本の料金)	子ども1人当たり350円/30分(会員さんに直接支払います)	子ども1人につき1回500円(社協を通じて会員さんに支払われます)	600円/1時間(会の運営費に充てられます)	グループにより異なります
問合せ先担当	ファミリーサポートセンター TEL590-1388 林 直美	ファミリーサポートセンター TEL590-1388 林 直美	ボランティアセンター TEL590-1112 中田絵理	ボランティアセンター TEL590-1112 中田絵理

こんにちは、ヘルパーです

問い合わせ先 ☎590-1880

篠山市社会福祉協議会 訪問介護事業所

平成23年10月より、視覚障害者のガイドヘルプ(同行援護)が障害者自立支援法に居宅介護と同じように位置づけられました。

同行援護とは

重度視覚障害により、移動が困難であり、外出時において、同行し、必要な情報を提供すると共に、移動の援護その他の便宜を供与すること。

同行援護のサービス内容

- 移動時及びそれに伴う外出において必要な視覚的情報の支援(代筆・代読を含む)
- 移動時及びそれに伴う外出において必要な移動の援護
- 排泄、食事等の介護その他外出する際に必要となる援助

当事業所でも、同行援護従事者の資格取得のために、数名がガイドヘルパーの講習会に参加しました。ヘルパーは実際に演習し、正確な情報を相手に伝えること、利用者に安心感を与え信頼関係を築くことの大切さ・難しさを改めて感じたようです。

また、来年度(平成24年度)は、医療と共に介護保険制度の改正の年であり、その動向が気になる時期です。

訪問介護では、看護と介護が一体になってサービスを行うことができる「24時間対応の定期巡回・随時対応サービス事業」「介護職員等による^{視覚}の吸引の実施」が示されています。

私たちヘルパーは、日々の訪問でご利用者の皆様から教えて頂く事も多く、コミュニケーションを築き、お一人お一人に合った対応を心がけています。常に関係機関と連携を図り、より良いサービスを提供するために、研修に取り組み、講習会に参加して、ヘルパーのスキルアップを目指し頑張っています。



◀エレベーターでの演習



▲駅のホームでの演習

篠山市災害支援市民ボランティア

5月から実施してきた東北への災害支援ボランティアも、今回で8回目を迎え、今年度最終となりました。11月11日(金)～11月14日(月)の行程で、宮城県南三陸町での活動です。壊滅的な被害を受けた南三陸町では、まだまだガレキ撤去などの作業ニーズがあり、継続的な支援活動の必要性を感じました。

東日本大震災 第8次市民ボランティア

日程 11月11日(金)～14日(月)
行き先 宮城県南三陸町
作業内容 養殖いかだのおもり(土のう)づくりと被災家屋のがれき撤去作業。
参加者 応募市民19人(高校生4人、大学生3人含む)、社協職員2人。



スコップで砂利を詰めていきます

●ガレキ撤去・漁業支援活動●
具体的な作業として、1日目は、養殖用いかだのおもりをつくる作業で、いかだを固定するための強靱な土のう袋に砂利約60kgを詰めるものでした。地元漁師さんとの共同作業で、当時の様子や、今の生活状況などを聞くことができました。



南三陸町社協 猪又総務課長さんへお米を手渡しました

◆神戸大学篠山フィールドステーション
篠山市と提携を結んでいる神戸大学篠山フィールドステーションから、3人の大学生が参加しました。自分たちが育てたものや、地域の方々から託された福住米(約200kg)を南三陸町社会福祉協議会へ手渡しました。今後、社協事業で活用される予定です。

2日目は、津波で、基礎だけが残った家のガレキや木片、金属をそれぞれ分別して積み上げ、基礎にたまった泥や砂を出す作業でした。私たちのグループを2つに分け、計4軒の家を整理しました。

◆篠山産業高校



伊里前(いさとまえ)保育所へ手作りエプロンを

篠山産業高校の生徒4人と、先生方3人が参加されました。同校は、これまで、東北へのボランティアや、和歌山県那智勝浦町への災害支援など積極的に活動を展開されています。さらに、生活科で製作された園児用のエプロンを、伊里前保育所へ贈呈されました。高台にあるこの保育園でも浸水被害がありました。

●支援のつながりと広がり●

これまでの活動の中で、支援の輪がつながり、大きく広がりました。篠山市でボランティアの方たちが、

水中の魚貝類を見る「箱めがね」を作り、被災地の漁師さんたちへ材料費のみで提供する活動がされていて、第8次で活動を共にした南三陸町の漁師さんと関係をつなぐことができました。

この他にも、これまで災害支援ボランティアに参加したメンバーが、まちづくり協議会の中で、活動紹介をしたり、参加者同士のネットワークを作り被災地での活動を行ったり、今後この支援の輪は、つながり広がっていくと確信しています。



意見を交わす篠山市の大工倉橋さん(右)と南三陸町の漁師三浦さん(左)

善意銀行だより

11・12月分

(敬称略)

－ 金銭預託 －

松本美千代(11、12月)(井ノ上)	善意の預託	6,000円
井関道夫(曾地奥)	善意の預託	20,000円
朝治さかえ(西荘)	善意の預託	10,000円
篠山市仏教会篠山支部	善意の預託	62,831円
城東ライオンズクラブ	善意の預託	50,000円
円応教篠山教会	善意の預託	9,000円
栗柄子ども会	善意の預託	4,800円
丹波OB大学自治会	善意の預託	6,000円
音羽住宅	善意の預託	850円
ホープ池上I団地	善意の預託	100円
T・O	善意の預託	10,000円
匿名	善意の預託	2,880円
匿名	善意の預託	1,100円

－ 物品預託 －

金井敏一(大沢)	さつま芋50kg	給食サービス
小谷重二(知足)	里芋10kg、さつま芋140kg	
	かぼちゃ4kg、じゃが芋	給食サービス
酒井紀実枝(油井)		
	じゃが芋10kg、さつま芋・里芋10kg	給食サービス
小前恵美子(宇土)	玄米30kg	給食サービス
芦田富基子(今田町芦原新田)(11、12月)		
	鉢植えの花11鉢	今田地区ひとり暮らし高齢者
林 真澄(福井)	洗剤	市内障がい者関係施設
畑市自治会	もち米(精米)30kg	市内障がい者関係施設
藤之木自治会	お餅6kg	市内障がい者関係施設
大芋文化祭実行委員会		
	パジャマ、下着類	ひとり暮らし高齢者
きらら 赤松美千代(黒岡)		
	マスク、雑巾、熱さまシートなど	篠山養護学校
飯田成代(垣屋)	折り紙細工	給食サービス
西澤昭美(栗柄)	折り紙細工	給食サービス
匿名	花の種33袋	ひとり暮らし高齢者

ご協力ありがとうございます!

篠山市社会福祉協議会では、「東日本大震災 救援募金」においてみなさまの熱い思いとしてお預かりした募金を中央共同募金会を通して、被災地へお届けします。今後も引き続きご協力をお願いします。

義援金総額 6,791,160円 (214件) ※12月28日現在

篠山市の福祉指標

12月末現在

地区	人口(人)	65歳以上人口(人)	高齢化率	増減	14歳以下人口(人)	年少率	増減
篠山	13,193	3,706	28.0%	→	1,633	12.3%	↓
城東	3,615	1,256	34.7%	↑	315	8.7%	→
多紀	3,506	1,376	39.2%	↑	287	8.1%	↓
西紀	4,415	1,217	27.5%	↑	566	12.8%	→
丹南	16,060	3,788	23.5%	→	2,125	13.2%	→
今田	3,796	1,025	27.0%	↓	420	11.0%	→
合計	44,585	12,368	27.7%	→	5,346	11.9%	↓

忘れない 3.11

参加することが、ボランティア。

2012年 3月 11日(日)

篠山城跡周辺

被災地のみなさんを招いての追悼式典とコンサート

お城ドーナツ 篠山城跡外堀

参加費 500円 (高校生以下無料(要整理券))
岩手・宮城・福島・茨城県 出身の方は無料
※ドーナツ付

祈りときずな たんば田園交響ホール

入場料 1,000円
小・中・高校生 500円
岩手・宮城・福島・茨城県 出身の方は無料

開始 12時(雨天決行)

開始 13時
開演 13時30分

申し込み・問い合わせ先
いのちのうた 山中 TEL 080-3815-3488
インターネット <http://www.inochi-uta.net/>
たんば田園交響ホール TEL 079-552-3600

心配ごと相談日

下記のとおり相談日を設けています。お気軽にご相談ください。

- ・丹南健康福祉センター
第1・3・5金曜日 9:00～11:30
- ・篠山市民センター
第2・4金曜日 9:00～11:30
- ・城東公民館
4・8・12月 第3木曜日 13:30～16:00
- ・ハートピアセンター
5・9・1月 第4木曜日 13:30～16:00
- ・西紀老人福祉センター
6・10・2月 第1木曜日 13:30～16:00
- ・今田まちづくりセンター
7・11・3月 第1木曜日 13:30～16:00

*当日が祝日の場合は、翌週に開催します

第1回

参加者募集!

ボランティアフェスティバル

～ひろがれ、ボランティアの輪～

ボランティアフェスティバルは、市民のみなさんにボランティアを身近に感じていただき、さまざまな活動をしているボランティア同士の交流を目的に開催します。ボランティアに関心のある方、他のボランティアとつながりたい方など…誰でも参加していただけます。ぜひご参加ください!!

と き：平成24年2月4日(土)
13:00～16:00(受付12:30～)

ところ：篠山市立丹南健康福祉センター

内 容

- 活動発表(13:20～14:30)
 - ・朗読ボランティア「山うぐいす」
 - ・丹南給食ボランティア(調理・配送・絵手紙)
 - ・篠山鳳鳴高校インターアクト部
 - ・ボランティアグループ「万華鏡」
 - ・篠山産業高校

- 講 演(14:40～16:00)
 - 演題：「ボランティアを知ろう
～災害から見たもの～」



講師
社会福祉法人大阪ボランティア協会
ボランティアコーディネーター
梅田 純平 氏

その他：・パネル展示 ・ボランティア体験コーナー
・作品、活動機材の展示など

主催 篠山市ボランティア連絡協議会
＜問い合わせ先＞
篠山市社会福祉協議会 TEL 590-1112(担当：中田絵理)

「知らない姿勢 Not knowing!」
これは以前に読んだ本から学んだ言葉で、相手のことは相手が一番良く知っている、だから相手に聴こう、という態度をとることをいいます。
わたしは、この言葉を知るまでは、「それってこういことやね。以前に似たことがあったという杓子定規で物事を見るような言葉は、いくら正しいことだと思っても、相手に対して「わかってもらえていない」という気持ちを持たせやすく、人間関係づくりには不向きな言葉です。
そうではなく、「それはこういう風に捉えたのですが、あっていますか?」「や」そのことについて詳しくないので教えてもらえますか」といった、「知らない姿勢」でいることをいつも心掛けたいと思います。
(小林健太郎)

あとがき

篠山市ファミリーサポートセンター

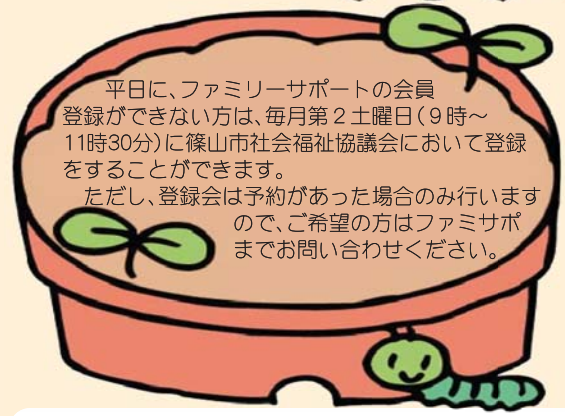
第4回 交流会(全会員対象)



「楽しくおしゃべり会～1年の感謝を込めて～」

ふだんはゆっくりお話しすることができない会員さんとお茶を飲みながらおしゃべりしませんか? 子どもさんには、協力会員さんによる人形劇・遊びのコーナー、行事写真の展示やプチリサイクルバザーも行います。

と き：3月3日(土) 10:00～11:30
ところ：丹南健康福祉センター 喫茶ふれあい
参加費：ひとり100円(お菓子と飲み物代)
定 員：20組
申込締切：2月27日(月)



平日に、ファミリーサポートの会員登録ができない方は、毎月第2土曜日(9時～11時30分)に篠山市社会福祉協議会において登録をすることができます。
ただし、登録会は予約があった場合のみ行いますので、ご希望の方はファミサポまでお問い合わせください。

社協「子ども一時預かり事業」

と き：2月22日(水)・3月13日(火)
※両日とも10:00～12:00(受付9:45～)
ところ：四季の森生涯学習センター東館 和室(2F)
定 員：10名(生後6ヵ月～就学前のお子さん)
利用料：子ども1人につき 1回500円
申込締切：各実施日の1週間前までにお申し込みください
※利用には申込みが必要です
※定員になりしだい締め切らせていただきます
※対象年齢の子どもさんをお持ちの方ならどなたでも利用できます

〈申込み・問い合わせ先〉

篠山市ファミリーサポートセンター
TEL 590-1388 担当 林 直美



「法人会費で福祉車両を購入いたしました」

法人会員の皆様方のご協力で福祉車両を購入しました。
篠山市は広大な面積を有しているため、地域福祉活動を行うには車両の使用が不可欠な物となっています。その車両が老朽化し不安を感じていましたが、今回の購入により刷新を図ることができ、より地域に密着したサービスの提供を行うことができるようになりました。
厳しい経済情勢のもと、何かと出費ご多端の折にもかかわらず、多くの法人企業様にご協力いただき、誠にありがとうございました。